

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 27 年 6 月 20 日 (N0.59)

浦幌町教育委員会
浦幌町教育研究所



教育の日 実践交流会

6 月 20 日、浦幌町小中一貫コミュニティ・スクール委員会主催の「第 1 回教育の日実践交流会」が町中央公民館で開催され、約 200 名の町民が心地よい汗を流しました。



水澤町長、林会長の挨拶



仲野教諭の発表



上浦幌学園の発表



浦幌学園の発表

オープニング

■主催者の林常行会長の挨拶に続き、水澤一廣町長が「人づくりやまちづくりに繋がる小中一貫 CS の充実に期待しています。」と祝辞を述べられました。7 月からの給食無料化の趣旨についてもお話されました。

■続いて、仲野公章教諭が浦幌学園の小中一貫 CS の活動について、①CS 掲示コーナーの設置、②CS カレンダーの作成、③学校支援ボランティア推進の 3 点にわたって情報提供し、組織的に小中一貫 CS が進められていることが伝わってきました。

第 1 部 学園実践紹介

■「町民みんなで体力づくり」のテーマに沿って、各学園の体力づくりの実践発表がありました。

まず、上浦幌学園の川口愛莉教諭、重泉壮生教諭が、「目指せ沖縄！ 上浦チャレンジマラソン！」の取組について、6 年生の川上遥音さんと佐藤一花さんとともに寸劇の手法でわかりやすく表現し、会場から大きな拍手を受けていました。

■次に、浦幌学園の小室彰人教頭、和田料一郎指導員(バドミントンの外部講師)が、「バドミントンクラブの活動」の取組について、昨年開設した小中一貫バドミントンクラブの活躍ぶりを紹介しました。

和田指導員からは、指導の重点として、用具(ラケットなど)を大切に扱うこと、しっかり挨拶すること、文武両道を目指す(折れない心を養う)ことなどの基本的な心構えとともに、地域が連携して小中一貫教育を行うことの意義について熱っぽく語っていただきました。

浦幌学園、上浦幌学園とも、過去 3 年間の取組をもとにしながら、新たな一步を踏み出す意気込みを強く感じさせる発表となりました。